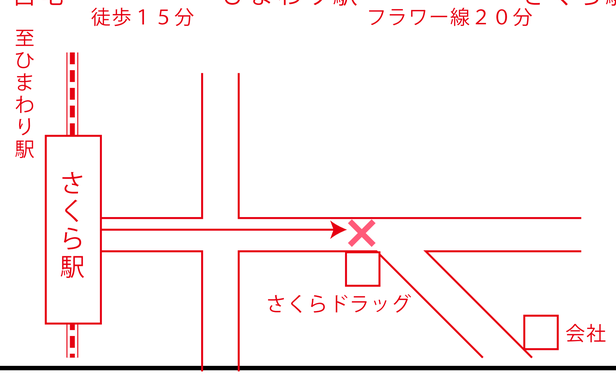
災害の状況についてまだ労基署に申告していない場合は提出する。
他の労災給付請求時に申告している場合は提出不要

様式第16号の7(別紙)

# 通勤災害に関する事項

| | |
|---|---|
| ㋑ 労働者の氏名 | 日本　太郎 |
| ㋺ 災害時の通勤の種別（該当する記号を記入） | イ　イ. 住居から就業の場所への移動　ロ. 就業の場所から住居への移動　ハ. 就業の場所から他の就業の場所への移動　ニ. イに先行する住居間の移動　ホ. ロに後続する住居間の移動 |
| ㋩ 負傷又は発病の年月日及び時刻 | 令和５年　２月２８日　午 前・後　８時　４５分頃 |
| ㋥ 災害発生の場所 | さくら市さくら町４丁目さくらドラッグ前 |
| ㋭ 就業の場所（災害時の通勤の種別がハに該当する場合は移動の終点たる就業の場所） | さくら市さくら町４丁目１番地 |
| ㋬ 就業開始の予定年月日及び時刻（災害時の通勤の種別がイ、ハ又はニに該当する場合は記載すること） | 令和５年　２月２８日　午 前・後　９時　００分頃 |
| ㋣ 住居を離れた年月日及び時刻（災害時の通勤の種別がイ、ニ又はホに該当する場合は記載すること） | 令和５年　２月２８日　午 前・後　８時　００分頃 |
| ㋠ 就業終了の年月日及び時刻（災害時の通勤の種別がロ、ハ又はホに該当する場合は記載すること） | 年　月　日　午 前・後　時　分頃 |
| ㋡ 就業の場所を離れた年月日及び時刻（災害時の通勤の種別がロ又はハに該当する場合は記載すること） | 年　月　日　午 前・後　時　分頃 |
| ㋢ 災害時の通勤の移動の種別に関する通常の移動の経路、方法及び災害の発生の日時並びに災害の発生した場所又は就業の場所から災害発生の場所に至る通常の経路、方法及びその所要時間、他の状況 | 自宅 —徒歩１５分— ひまわり駅 —フラワー線２０分— さくら駅 —徒歩１０分— 会社<br>  <br><br>（通常の移動の所要時間　時間　５０分） |
| ㋣ 災害の原因及び発生状況<br>(あ)どのような場所を<br>(い)どのような方法で移動している際に<br>(う)どのような物で又はどのような状況において<br>(え)どのようにして災害が発生したかを簡明に記載すること | JRさくら駅から会社まで徒歩で出勤中、さくら町４丁目１番地<br>さくらドラッグ前にて、前日の雪が残っており道路が凍結していたため<br>滑って転倒し、右手首を骨折した。 |
| ㋮ 現認者の住所 | □□市△△町３－４ |
| ㋮ 現認者の氏名 | 青葉　一郎　電話（123）456－7890 |
| ㋯ 転任の事実の有無（災害時の通勤の種別がニ又はホに該当する場合） | 有・無 |
| ㋰ 転任の直前の住居に係る住所 | |

通常は「イ」か「ロ」

入社後に職場が途中で変わったという事実があるか

事故を目撃した同僚（知人）がいるならその人物の、いないなら災害発生の報告を受けた人物の名前と電話番号、役職名（または住所）を記入

〔注意〕

1．㋩は、災害時の通勤の種別がハの場合には、移動の終点たる就業の場所における就業開始の予定年月日及び時刻を、ニの場合には、後続するイの移動の終点たる就業の場所における就業開始の予定の年月日及び時刻を記載すること。
2．㋠は、災害時の通勤の種別がハの場合には、移動の起点たる就業の場所における就業終了の年月日及び時刻を、ホの場合には、先行するロの移動の起点たる就業の場所における就業終了の年月日及び時刻を記載すること。
3．㋡は、災害時の通勤の種別がハの場合には、移動の起点たる就業の場所を離れた年月日及び時刻を記載すること。
4．㋢は、通常の通勤の経路を図示し、災害発生の場所及び災害の発生の日に住居又は就業の場所から災害発生の場所に至った経路を朱線等を用いてわかりやすく記載するとともに、その他の事項についてもできるだけ詳細に記載すること。